

夏の感染症に 注意しましょう

夏場に流行する感染症について予防策を紹介します。どの病気にも共通する予防策は「手洗い・うがい」です。食事の前や外出から戻ったとき、便・その他の排泄物を扱った後など、日頃から習慣づけておくことが大切です。

※県と市ホームページにも夏の感染症について掲載しています。

保健センター ☎ 63-1133

感染症名	感染経路など	症状	予防策
腸管出血性大腸菌感染症	ペロ毒素を産生するO157、O26、O111 などの大腸菌が原因となります。菌に汚染された食品、食器、手指などを介して口から感染します。特に、夏場に多く発生し、感染力が強いため、集団生活の場で感染が広がるおそれがあります。	3～5日間の潜伏期を経て、下痢、腹痛、血便、発熱などが見られ、まれに、重い合併症を起こすことがあります。	菌に汚染された食品からの感染を防ぐために、食品を十分に加熱してください。(75℃以上で1分以上) さらに、加熱前と加熱後の食品に使用する調理器具は共用しないようにし、調理や食事の前には、必ず手を洗ってください。
ビブリオ・バルニフィカス感染症	この細菌は、広く海水中に生息しており、海水温が上昇する夏場に増殖が活発になります。肝臓疾患のある人や免疫力が低下した人が感染すると、非常に重い症状を引き起こすことがあります。感染経路は、この細菌が付着した魚介類の生食と切り傷などからの細菌の侵入の二つです。	数時間から数日間の潜伏期を経て、発熱、皮膚(主に下肢)の激しい痛み、腫れなどの症状があります。	健康な人はあまり心配いりませんが、肝臓疾患のある人や免疫力の低下した人は、魚介類の生食を控え、傷があるときは海水との接触を避けるなどの注意が必要です。ビブリオ・バルニフィカスについてのQ & A http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/iyaku/syoku-anzen/qa/060531-1.html
日本脳炎	日本脳炎ウイルスに感染したコガタアカイエカに刺されることで感染します。人から人への感染はありません。	5～15日の潜伏期を経て、頭痛・発熱により発症し、その後、39～40℃の高熱となり筋硬直、意識障害、けいれん、昏睡などの症状を示し、20～50%が死に至ります。死亡を免れた場合も、その半数近くは重い後遺症を残します。	予防接種は適切な時期に、必要な回数を接種するよう心がけてください。流行期には、過労を避け栄養を十分に取ることで体力の保持に努め、なるべく蚊に刺されないよう注意することも大切です。
咽頭結膜熱	アデノウイルスが原因です。プールの脱衣所やタオルの共用などによって流行することがあるため、プール熱とも呼ばれます。	5～7日の潜伏期を経て、発熱、咽頭炎、結膜炎の症状が出ます。3～5日間症状が継続します。	感染者との濃密な接触を避けること、流行時には手洗い・うがいをするのが大切です。また、プールの利用に際しては、水泳前後にはシャワーを浴び、タオルの共用を避けるなどの注意が必要です。
手足口病	2歳以下の乳幼児を中心に流行し、夏(7～8月)が流行のピークとなることが多いです。	手のひら、足の裏、口の中に小さな水疱のような発疹ができるのが特徴です。	患者のくしゃみなどからのしぶき、水疱の中身、患者の便にウイルスが存在し、回復しても数週間は、便中にウイルスが排泄されます。予防は手洗いをしっかり行い、排泄物を適切に処理することです。手洗いは流水と石けんで十分に洗い、タオルの共用はしないようにしてください。
ヘルパンギーナ	夏かぜの代表的な疾患です。患者は4歳以下に多く、1歳がもっとも多い年齢です。	のどに現れる水疱性発疹と急な発熱が特徴です。	ヘルパンギーナのウイルスは手足口病と同じく、腸管で増えるウイルスです。いずれも夏かぜの代表的なもので咽頭にもウイルスは排泄されます。鼻水や唾液中にもウイルスが存在するので、外出後や食事の前、トイレの後には、うがいや手指の消毒を励行することが大切です。

腹腔鏡下鼠径ヘルニア 根治術(エルベック法)の紹介

当院では、平成3年の腹腔鏡下胆のう摘除術をはじめ、平成16年に九州で初めて完全鏡視下幽門側胃切除術を手掛けて以来、鏡視下手術を行っています。今年度から「小児鼠径ヘルニア」に対して鏡視下手術を始めましたので紹介します。

◆小児鼠径ヘルニアとは
一般的に、「脱腸」と言われるもので、本来出生前に閉鎖するはずの腹膜の袋(鞘状突起)が開いたままになっているため、その穴に腸などの臓器が入り込み、鼠径部(太ももの付け根)が膨らんでくる病気です。放置しておく、飛び出した臓器が締め付けられて血流が悪くなりむくみが出て硬くなり、腹部に戻らなくなることがあります。これをヘルニア嵌頓(えんどん)といいます。腸が壊死して、腹膜炎を併発し命に関わるケースもあるので緊急手術が必要で

◆腹腔鏡下鼠径ヘルニア根治術とは

鼠径ヘルニアの手術法は従来、鼠径部の切開を行うポツツ法という手術法で行われてきましたが、最近では、腹腔鏡下に手術を行うエルベック法という方法が全国でも多く行われるようになってきました。エルベック法の利点は、傷が小さく術後の痛みが少なく、傷跡が目立たないことで、中でも最大の利点は、これまで不確実だった「反対側のヘルニアがあるかないか」を簡単に見分けられることです。対側出現による再手術のリスクがほとんどなく、手術時間は片方で20分ほどで、手術の翌日には退院が可能です。小児の鼠径ヘルニアは、小児外科で最も多い病気の一つです。質問などお気軽にお尋ねください。

外科診療部長 勝守高士

人間ドックのご案内

当院では個人(加入健保より助成金制度がない人)を対象に通常人間ドックコースより低額なコースをご案内しております。自分自身の健康管理のために、年1回の人間ドックをお勧めします。検査項目の詳細や申込方法など詳しくはお問い合わせください。

荒尾市民病院健康管理センター ☎ 62-4480

コース名	検査内容	料金	日時
専門コース 脳ドック	脳梗塞に代表される脳血管疾患をはじめとした脳内の異常、関係する生活習慣の問題点を調べることで、早期治療、予防につながります。	36,750円	毎週水・金曜 11:45～15:30頃
専門コース 心臓・動脈硬化ドック	心臓の異常、血管の動脈硬化の程度、原因となる生活習慣病の問題点を調べることで早期治療、予防につながります。	48,000円	毎週火曜 10:00～16:00頃
日帰り胃・大腸カメラコース	当院の通常宿泊ドックコースから糖負荷検査、乳がん・子宮頸がん検診を除いた低額コースです。	45,000円 (通常宿泊コース58,000円) *個室利用、軽食あり	毎週火・木曜 8:30～17:00頃

平成26年度職員採用試験のお知らせ

- 試験日 9月28日(土)
- 試験内容 筆記試験・個別面談
- 受付期限 9月20日(金)
- ※応募多数の職種の場合、1次試験合格者は、10月11日(金)に2次試験(面接)を行います。
- ※平成26年4月1日(火)から勤務の開始を予定しています。ただし、①②の既卒者は、平成25年度内に随時採用予定。当院ホームページにも詳細を掲載しています。

	募集職種	定員	対象
①	看護師・助産師	15人ほど	昭和43年4月2日以降に生まれた人
②	薬剤師	2人ほど	昭和59年4月2日以降に生まれた人
③	PT・OT・ST	PT・OT…若干名 ST…1名	年齢問わず
④	臨床検査技師	若干名	昭和59年4月2日以降に生まれた人

～ 看護師・助産師・薬剤師・看護補助など 随時募集中 ～

詳しくは荒尾市民病院ホームページをご覧ください